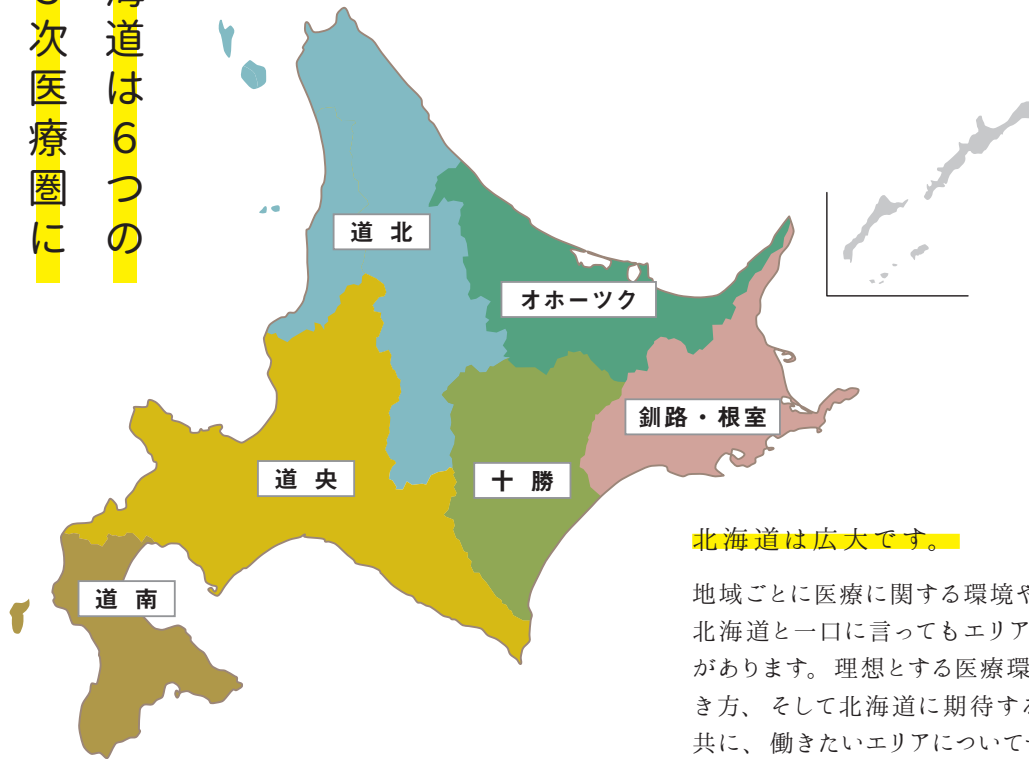


エリアごとに豊かな特徴や個性があります

北海道 6 医療圏

北海道は6つの
第3次医療圏に
分かれています

- [風 土]
- [気 候]
- [文 化]
- [医 療 環 境]



北海道は広大です。

地域ごとに医療に関する環境や課題はそれぞれですし、北海道と一口に言ってもエリア一つひとつに特徴や個性があります。理想とする医療環境や実現したい理想の働き方、そして北海道に期待することや楽しみたいことと共に、働きたいエリアについてぜひ考えてみてください！

Area.01

道北エリア

豊かな自然や絶景があふれる地域

旭川市や稚内市を中心とするエリア。南北に広く、南部は米作りや畜産がさかんです。北海道第2位の人口を持つ旭川市やラベンダーで有名な富良野があります。絶景スポットも多数！

Area.02

道央エリア

札幌をはじめとする
北海道の中心地域

北海道の政治経済の中心地として、周辺の市町村を含む札幌都市圏を形成。新千歳空港や苫小牧港を擁しています。日本海側のため積雪が多く、ウィンタースポーツや冬のイベントがさかんです。

Area.03

道南エリア

過ごしやすい気候の地域

夜景が美しい函館市を中心としたエリア。北海道新幹線が開通し、本州とのアクセスも良好です。温暖な気候で積雪も少なく過ごしやすいのが特徴。魚介類もおいしい地域です。

Area.04

オホーツクエリア

海の恵みと流氷を堪能できます

オホーツクエリアといえば流氷。流氷まつりなど、冬の楽しみが多い地域。寒さは厳しいですが、日照時間が長く、ホタテやカキなどの海産物、北見市の焼肉など食資源が豊かです。

Area.05

十勝エリア

広大な土地を活かした
農畜産業がさかん

広大な十勝平野を活かした畑作農業や畜産業がさかんな地域。食料自給率はなんと約1,100%とも言われます。冬の間は晴天の日々が続き、「とかち晴れ」とも呼ばれています。

Area.06

釧路・根室エリア

湿原が広がる日本最東端の地域

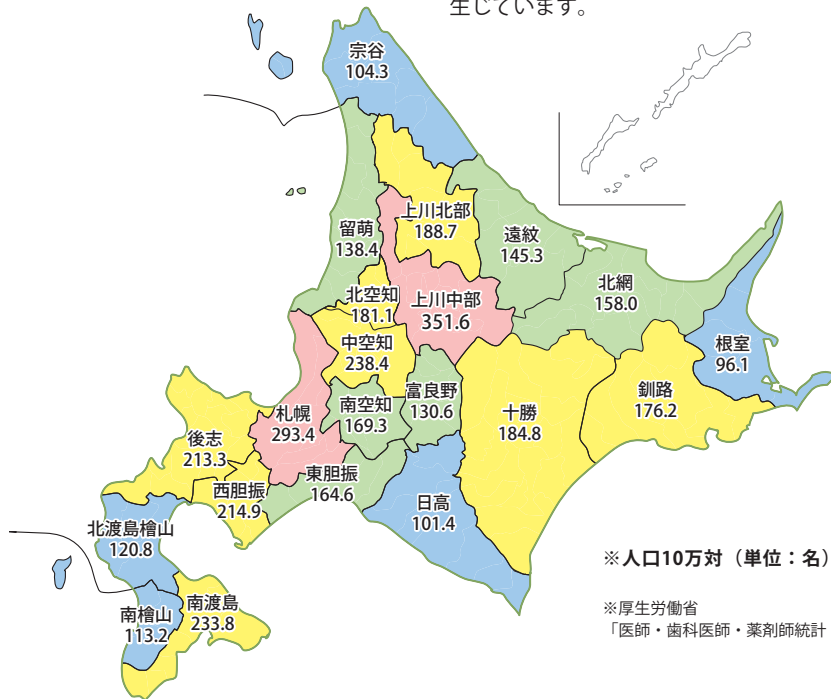
釧路湿原にはタンチョウをはじめ独自の生態系が広がります。また、サンマやカキ、花咲ガニなど海産物がおいしい地域。夏の気温が低く、避暑地としても人気。冬の雪の量は少なめ。

北海道の医療の課題と可能性

◆病院などに勤務する医師数（人口10万人対）は全国平均と近い数となっていますが、都市部に医師が集中し、地域における医師の不足が深刻な状況となっています。

◆2次医療圏ごとの地域別人口当たりの医師数で見ると、札幌や旭川（上川中部）では全道平均を上回っていますが、北渡島檜山、南檜山、宗谷、日高、根室では全道平均の半分以下となっており、医師の地域偏在が生じています。

◆また、北海道では全国を上回るスピードで高齢化が進んでおり、さまざまな疫病に対する医療ニーズも高まっています。地域の人々の健康を支えるための適切な医療提供体制の確保は急務です。
ぜひ、あなたの力を北海道で発揮してください！



医師数（医療施設従事医師数）

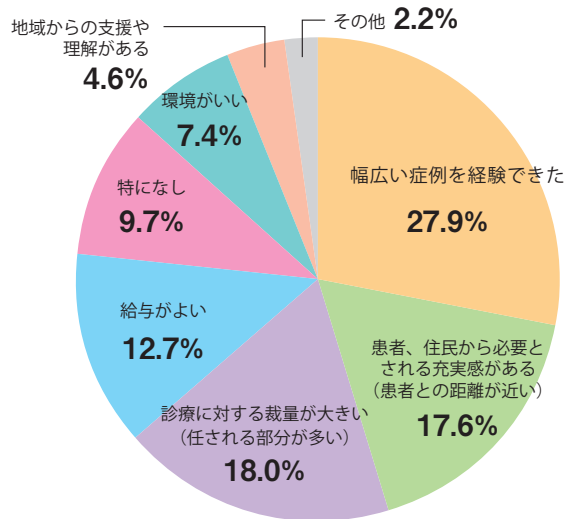
- 全道平均を上回っている圏域
- 全道平均 100%未満～70%以上の圏域
- 全道平均 70%未満～50%以上の圏域
- 全道平均50%未満の圏域

地域に根付いた診療を行い、北海道の「地域医療」に貢献しませんか？

地域診療に携わってよかったこと

◆地域医療を担う医師には、診療科という枠にとらわれず、地域に暮らす人々の健康をあらゆる面から支えるオールrounderとしての心構えを求められるケースが多くあります。患者一人ひとりの病気を治療するだけでなく、その人がその人らしく生きられるように支援すること。そうした総合的な視点で患者に寄り添い、個々の健康や生活管理、ひいては地域全体を診るというスタンスで取り組めるのが、地域医療ならではの魅力です。

◆また、北海道では、医師に対する勤務環境や住居環境の改善、子育て支援や働き方・休み方改善、働きがいの向上などさまざまな取り組みを推進しています。



北海道地域医師連携支援センター「地域医療に対する執務医アンケート調査」（令和2年）

北海道の地域医療

視察・体験募集

北海道では、道内の市町村立病院などで勤務を考慮しておられる医師を対象に、地域医療視察・体験への支援を行っています。

自然・食の幸・アウトドア・スローライフなど盛りだくさんの北海道で、実際に街の雰囲気や病院、診療所をご覧になってください。

日程や視察・体験場所は、ご希望に沿いながら決めることとしておりますので、お気軽にご連絡ください。



詳しくは本冊子P91をご覧ください